

平成29年
2月15日
第6号

埼葛ニュースレター

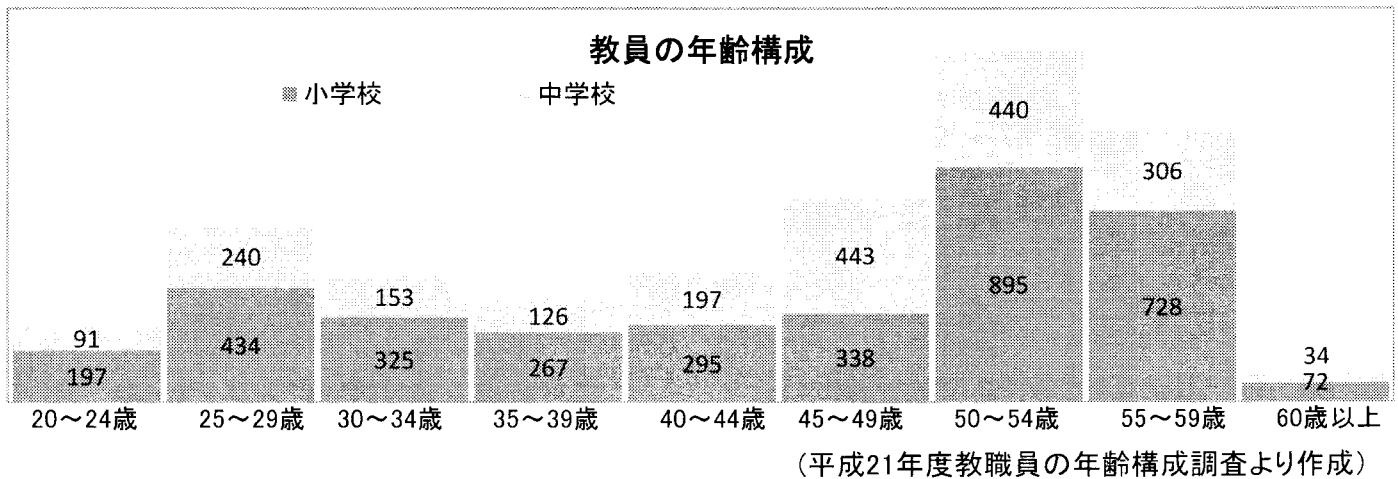
埼葛退職校長会
責任者 会長 山根和夫
編集 広報部

『埼葛ニュースレター』第6号 発行に寄せて 埼葛退職校長会長 山根和夫

「絆をより深め、一人一人が生きがいを感じられる魅力ある会」としての活動が、充実したものとなりました。会員の参加とご協力に感謝申し上げます。

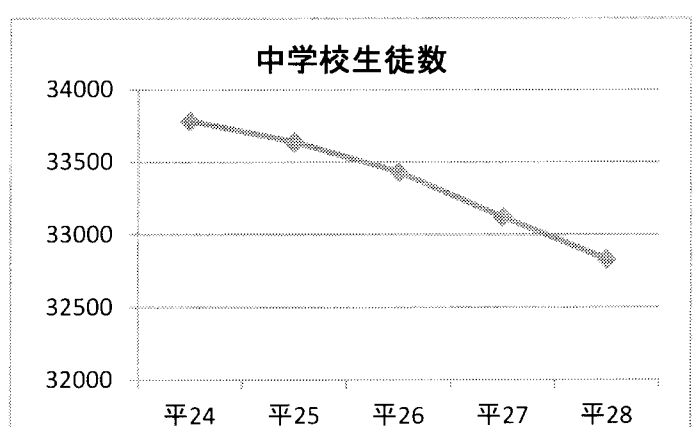
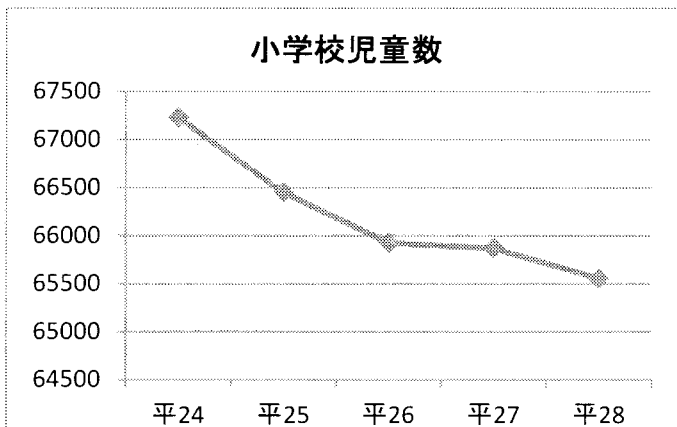
今回は会員の方々の活躍お知らせするとともに、学校支援を考える手がかりとして、学校の現況と本格化した学習指導要領の改訂について国の動向を掲載いたしました。ご活用いただければ幸いです。

埼葛地区教員の年齢構成



団塊世代の退職に伴い若い教師の増加と中堅教員の減少が目立ちます。調査時より7年が経過している現在、若年層の増加が顕著になっていると思われます。会員の皆様の英知を初任者に伝えていく教育支援活動が大切かと思えます。

公立学校児童数・生徒数の推移と埼葛地区外国籍児童・生徒数



(埼玉県学校基本統計より作成)

平成24年度からの5年間の推移では、児童数は1669人、生徒数は954人減少しています。これは埼葛教育にとっても大きな課題です。

埼葛地区外国籍児童・生徒数と帰国児童・生徒数(平成27年度埼玉県学校基本統計より)

埼葛地区には、小学校に529人、中学校に263人の外国籍の子どもが在籍しています。これらの児童生徒への日本語指導等の充実も求められています。また、帰国児童数は37人、帰国生徒数は19人です。多くの児童・生徒に対して個別の支援が求められています。一方、これら児童・生徒の外国での経験を生かし、学校を活性化することも重要となります。会員各位の地域貢献の分野でもあります。皆様の活動が望まれています。